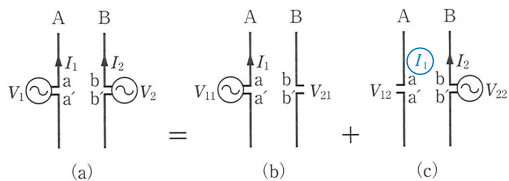
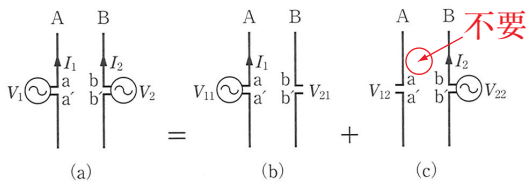


1 陸技無線工学B【アンテナと電波伝搬】完全マスター (2010年9月18日第2版発行)

本書におきまして、次のとおり誤りがありました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

頁	行	誤	正
75	中段 数式 (4.20)	$\Delta\% = \frac{42.55}{\pi Z_0} \times 100 \quad [\%]$	$\Delta\% = \frac{42.55}{\pi Z_0} \times 100 \quad [\%]$
77	図面 5.1	 <p>図5.1 互に影響する二つの素子の給電電圧</p>	 <p>図5.1 互に影響する二つの素子の給電電圧</p>
194	上から 3~4行目	利得は0.63 [dB]	利得は -0.63 [dB]
282	下から 7行目	d_1 、 d_2 : 直接波と大地反射波の通路長	r_1 、 r_2 : 直接波と大地反射波の通路長
283	上から 6行目	$\beta(r_2 - r_1) = \beta \{ \sqrt{d^2 + (h_1 + h_2)^2} - \sqrt{d^2 + (h_1 - h_2)^2} \}$	$\beta(r_2 - r_1) = \beta \{ \sqrt{d^2 + (h_1 + h_2)^2} - \sqrt{d^2 + (h_1 - h_2)^2} \}$
310	下から 8行目	$D \doteq 3.57 \times 10^3 (\sqrt{h_1} + \sqrt{h_2}) \quad [\%]$ $= 3.37 (\sqrt{h_1} + \sqrt{h_2}) \quad [\text{Km}]$	$D \doteq 3.57 \times 10^3 (\sqrt{h_1} + \sqrt{h_2}) \quad [\%]$ $= 3.57 (\sqrt{h_1} + \sqrt{h_2}) \quad [\text{Km}]$
394	上から 2行目	(1) 電波量を使う方法	(1) 電波星を使う方法
401	下から 4行目	$\cos x - \cos y = 2 \sin \frac{x+y}{2} \sin \frac{x-y}{2}$	$\cos x - \cos y = -2 \sin \frac{x+y}{2} \sin \frac{x-y}{2}$
404	下から 2行目	x、y、z各軸方向の単位ベクトルを i 、 j 、 h とすれば、	x、y、z各軸方向の単位ベクトルを i 、 j 、 k とすれば、